

令和元年度 奥越明成高校生 市長と語る会 感想

【五十音順】

【天池 友彦さん】

このような機会はほとんどないと思い参加させていただきました。機械科としてプレゼンして、市長の前で発表するのはとても緊張しましたが、自分の言いたいことはしっかりと言えました。市長はとても寛大な方でした。ぼくは、人前で話すことがあまりないので、将来のためにもよい経験になりました。このような会に参加させていただき、とても感謝しております。

【加藤 航真さん】

「自分たちがこうしたら勝山市を盛り上げることができるのではないか」ということを考えるととてもいい時間でした。普段このようなことを考える機会がないので、よい経験になりました。私が提案した案は、今思えば、高校生ができることではないなと思いました。もっと身近なところで活躍できるものにすればよかったかなと思いました。ですが、わたしたちだけでもできるぐらいの技術を身に付けようと思うことができました。市長とお話することができて良かったです。

【滝本 果音さん】

市長と目を合わせて会話できることはなかなかできない経験です。そのような場を設けてくださったことにとても感謝しています。「市長と語る会」に参加して、私はさらに勝山の良い部分を見つけることができました。とても熱く勝山を思う市長が、よく考え、私たち高校生の提案に真正面に向き合ってくださいました。誰かに自分の考えを伝えるということとはとても楽しかったです。私が企画した「明成食堂」が実現するにはたくさんの方々の協力が必要です。もしこの企画が実現する際には、私も裏方として協力したいと思っています。

【廣瀬 文月さん】

市長と話をすることが高校生にとってあたりまえではない中でお話させていただいたことは、貴重な経験になりました。ポスターを展示してほしいというプレゼンに対して、前向きに検討していただけていることが感じられて少しうれしかったです。技術の向上が必要だということだったので、今後は素晴らしい作品を作っていけたらと思います。

【山根 舞雪さん】

すごく緊張していましたが、本番は楽しく発表できました。私たちが考えたプロジェクトが実行できるといいなと思いました。1つのプロジェクトを検討するために様々な業者さんや部署の方がかかわっているんだなとわかりました。